

インマヌエル中目黒キリスト教会
2011年8月28日
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講17
「みことばを実行する喜び」

ネヘミヤ記8章13-18節
竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネハミヤ記8章13節 - 18節

13 二日目に、

すべての民の一族のかしらたち
と、祭司たち、レビ人たちは、
律法のことばをよく調べる
ために、
学者エズラのところに
集まって来た。

14 こうして彼らは、
主がモーセを通して命じた律法
に、
イスラエル人は第七の月の
祭りの間、
仮庵の中に住まなければ
ならない、
と書かれているのを見
つけ出した。

15 これを聞くと、彼らは、
自分たちのすべての町々と
エルサレムに、
次のようなおふれを出した。
「山へ出て行き、オリーブ、
野生のオリーブの木、ミルトス、
なつめやし、また、
枝の茂った木などの枝を
取って来て、
書かれているとおりに
仮庵を作りなさい。」

16 そこで、民は出て行って、
それを持って帰り、
それぞれ自分の家の屋根の上や、
庭の中、または、神の宮の庭や、
水の門の広場、
エフライムの門の広場などに、
自分たちのために仮庵を作った。

17 捕囚から帰って来た全集団は、
仮庵を作り、その仮庵に住んだ。
ヌンの子ヨシュアの時代から
今日まで、
イスラエル人は
このようにしていなかったのもので、
それは非常に大きな喜びで
あった。

18 神の律法の書は、
最初の日から最後の日まで、
毎日朗読された。
祭りは七日間、祝われ、
八日目には定めに従って、
きよめの集会が行われた。

説教

ネヘミヤ記連講17

「みことばを実行する喜び」

ネヘミヤ記8章13節 - 18節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「捕囚から帰って来た全集団は、
仮庵を作り、その仮庵に住んだ。
ヌンの子ヨシュアの時代から
今日まで、
イスラエル人は
このようにしていなかったのもので、
それは非常に大きな喜びで
あった。」

(ネヘミヤ8：17)

A. 仮庵祭規定の再発見

1. みことばを調べる(1 3節)：
かしらたち、祭司たち、レビ人
2. 規定を見出す(1 4節)：
(レビ記 23：24－43)

3. [参考①]

イスラエルにおける三大祭

①過越祭(1月＝現3、4月)：

出エジプトの奇跡を感謝

②7週の祭(3月＝現5、6月)：

収穫の感謝

③仮庵祭(7月＝現9、10月)：

出エジプト後の流浪生活を
記念

4. [参考②] 7月の行事

① 1日：ラツパ祭（絵図①参照）

② 10日：「贖いの日」

③ 15日－22日：
仮小屋に住む(レビ23：17)

④ 最終日：きよめの日
(民数記29：35－36)

絵図①



B. 仮庵祭の準備と実行

1. 枝収集のおふれ（15節）
2. 仮庵に住む
（16節、17節a）

C. 仮庵祭の齎した喜び

1. ヨシュア以来最大

(17節b)

2. 祭の継続と締め括り

(18節)

終わりに：

私たちも、みことばを学び、
その通りに行おう